



# 門真四中だより

「つながる」「わかる」「切り拓く」

令和4(2022)年9月22日

第35号

編集・発行：校長 上甲 尚

## 中間テスト1週間前!

### ～自己ベストをめざしてコツコツ頑張りよう!～



今日から中間テスト1週間前に入ります。テスト範囲はすでに各教科の先生方から説明されているので、すでに勉強を始めている人もいます。明日からの3連休、時間を有効に使って、計画を立ててコツコツ勉強していきましょう。自己ベストをめざして頑張ってください。

さて、人はなぜ、勉強するのでしょうか。あるいは、勉強しなければならないのでしょうか。この問いの答えには、人それぞれ、その人なりの考え、答えがあると思います。「高校、大学に行くため」「いい暮らしをするため」と答える人もいます。今やテレビで引っ張りだこの池上彰氏(ジャーナリスト、元NHK記者)の答えは、

#### 「人間になるために勉強する」

だそうです。これには「人間らしい生活を送るため」という意味が込められているそうです。とても深いですね。世界には、勉強したくても学校に通えない子どもたちがたくさんいます。女性には勉強(学歴)は必要ない、という差別的な考え方の国もあります。学校どころか、貧困や飢えに耐え、病と闘い、今日を生きるために必死の子どもたちもたくさんいます。紛争が絶えない国に生まれ、やむを得ず銃を手にする子ども(少年兵)もいます。池上さんの答えは、そんな子どもたちのことも考えてのことだそうです。

吉田松陰(1830-1859:幕末の思想家、教育者)は、次のように語っています。

「凡そ学をなすの要は己が為にするあり。己が為にするは君子の学なり。人の為にするは小人の学なり」

【意味】

何のために学ぶのかといえば、自分を磨くためです。自分のためにする学びこそが、善い人間を志す人の学びです。人に褒められるために学ぶことは、とるに足らない人の学びです。

皆さんも一度、「人はなぜ、勉強するのか」保護者の方や先生、周りの大人に尋ねてみてください。いろんな答えがあると思います。ちなみに、今の私の答えは「より良い人生を送り、社会に貢献する人間になるため」です。

「勉強するから、何をしたいか分かる。勉強しないから、何をしたいか分からない」

(ビートたけし)

「小さいことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただひとつの道」

(イチロー)

さあ、自分のため、将来のために勉強しよう!頑張り、四中生!

## 不審者対応訓練を行いました



昨日の放課後、皆さんが下校した後、不審者対応訓練を行いました。授業中の校内に刃物を持った不審者が侵入して来ると想定し、具体的な対応を訓練しました。まず子どもたちの安全を確保し、さすまたを使って不審者をおさえ、警察への通報、ケガ人の対応などを確認しました。訓練終了後、ふり返しを行い、対応マニュアルの確認なども行いました。

あつてはならないことですが、中学校の門はオートロックではありませんので、外部から容易に侵入することが可能です。もしもの時に備えて、真剣に訓練を行いました。

## だいぶ涼しくなってきました



「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、今週に入ってかなり気温が下がってきて、めっきり涼しくなりました。日も短くなってきて、本格的な秋の到来を感じます。「読書の秋」「食欲の秋」「運動の秋」「芸術の秋」「行楽の秋」など、「秋」は様々な活動をするのに最適な季節です。くれぐれも「ゲーム三昧の秋」「スマホ三昧の秋」にはならないようにしましょう。

## 「秋分の日」

明日、9月23日は「秋分の日」です。「祖先を敬い、亡くなった人をしのぶ日」として、1948(昭和23)年に法律で制定されました。昼と夜の長さがほぼ等しくなる日とも言われています。

秋分の日を中心とした一週間を「秋彼岸」と言い、各家庭では家族そろってお墓参りに行ったり、祖先を供養する法要が行われたりします。私は少し早めに、先週の土曜日に両親のお墓参りに行ってきました。皆さんの家ではどうですか。

## 3年生の保護者の皆さまへ

### ～大阪府育英会予約奨学生の募集について～

「進路だより」でもお知らせし、一昨日、「マチコミ」でもお知らせしましたが、大阪府育英会の予約奨学生の応募メ切が迫ってきています。書類を整え、事前に点検する必要がありますので、早めに余裕をもって、担当の小森先生に申し出て「申込のしおり」をもらってください。

【趣旨】

- ・高校へ進学を希望する生徒で、向学心に富みながら経済的理由により修学が困難な方に対し、進学前に奨学金貸付を予約する制度。
- ・奨学金は無利子ですが、貸付金ですので、返還義務があります。
- ・申し込みには諸条件がありますので、確認しておいてください。

◎申し込みメ切…10月4日(火)

※書類のチェックの必要がありますので、余裕をもって早めに提出してください。

※詳しくは「進路だより16号」を参照していただくか、担当(小森先生)まで連絡ください。